

介護老人保健施設 しおさい

症例概要 利用者 : 90代 女性

病 名 : 甲状腺癌 S状結腸癌

利用サービス : 令和6年入所中に転倒し西伊豆健育会病院入院 令和7年1月より再入所

経 過 : 令和6年自宅で自傷行為の経緯あり。入所時は活気なく、声掛けにも消極的で意欲低下が見られたが、コミュニケーションを重ね、本人の趣味であった美術工作を通し、自信を取り戻し、笑顔をもたらした症例。

内 容

令和6年、在宅で生活されていたご本人はうつ傾向が見られ、自傷行為に至ったため精神科病院へ入院されました。状態は安定しましたが、ご家族の強い希望により当施設へ入所となりました。

入所当初は活気がなく、レクリエーションにも消極的で、ほとんどをベッド上で過ごされていました。キーパーソンである娘さんからは「とにかく穏やかに過ごしてくれれば」とのお気持ちが語られ、その思いを大切にしながら、ご本人との関係づくりに努めました。

ある日、声かけをきっかけに塗り絵に参加され、丁寧に色を塗る姿が見られました。「昔はコンテストにも出ていた」と語られたことで、塗り絵や貼り絵を日常の活動に取り入れることにしました。当初は否定的な言葉も多く聞かれましたが、職員と一緒に取り組むことで徐々に心を開かれ、11月の文化展への出品を目標に伝えると「やってみようかな」と前向きな言葉が聞かれました。

活動を通して「娘を安心させたい」という思いも語られ、離床時間が増え、リハビリや他の活動にも積極的に取り組まれるようになりました。文化展では完成した作品が展示され、ご本人は照れながらも嬉しそうな表情を見せてくださいました。

しかしその後、転倒により大腿骨を骨折し一時退所となりましたが、ご本人とご家族の希望により再入所。「しおさいに戻りたくてリハビリを頑張った」と話され、笑顔で戻ってこられました。

現在は日々の活動にも意欲的に取り組み、他の利用者さんの励みとなる存在です。支援の中で自信と笑顔を取り戻し、毎日の暮らしに小さな目標や楽しみを見出しながら、ご本人らしく過ごされています。

明るい表情とともに、ご自身の力で小さな目標を積み重ねながら、キラキラと輝く笑顔で毎日を過ごされています。その笑顔は、ご本人だけでなく周囲の心までも照らす存在となっております。

【多職種のかかわり】

[看護]ご本人の全身状態を綿密に観察するとともに、作品づくりの支援、また、アロマ提供と傾聴による心理的支援を担当し、心の安定に寄与。

[介護]レクリエーションの実施や作品づくりのサポートを通じて、ご本人の積極的な活動参加を促しました。

[リハビリ]動作評価を行うほか、作品づくりやレクリエーションにも積極的に参加し、身体機能の回復と精神面の活性化を支えました。

これら各部署が連携し、それぞれの専門性を活かしてご本人の生活の質向上に努めました。